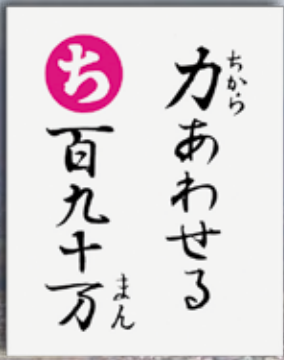


やっぱりぐんまっていいところ

～ 移住者に選ばれる魅力とは～

「力合わせる200万」という上毛かるたの読み札が「力合わせる190万」になったことを知っていますか。県人口が減少に転じてから約20年が経過した中で、県は新たな地域活性化の力となる移住者を増やすための取り組みを進めています。

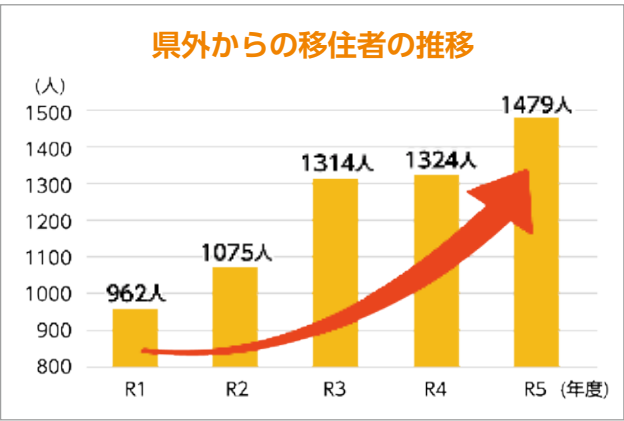
今回は、実際に移住した人の話や県の移住に関する取り組みなどを紹介します。



移住先として注目されている 群馬県

新型コロナウイルス感染症の拡大をきっかけに、働き方や暮らし方が大きく変化し、都市部から地方への移住を考える人が増えています。特にテレワークの普及によって「職場に通う」という前提が薄れたことで、通勤距離のことを気にせずに住む場所を選ぶこともできるようになりました。

そうした中で注目されているのが、自然の豊かさと生活の利便性のバランスが取れた群馬県です。実際に移住者数は年々増加しており、地域の活性化も期待されます。



※各市町村で把握できた移住者数の合計であり、実際の移住者数と一致するものではありません

インタビュー Interview

移住者が気軽に相談できる身近な人に



下仁田町移住コーディネーター 津金澤 英美さん

日々、移住や2拠点生活を考えている人、また移住した人からの相談を受けています。町の魅力を紹介するだけでなく空き家バンク登録物件に関することから日常生活に至るまで、相談内容は多岐にわたります。下仁田町を訪れる人たちの水先案内人のような、いつでも気軽に相談できる身近な存在でありたいと思っています。

移住を考えている人は、地域の一員となることについて前向きな人が多いと感じます。下仁田町の文化や自然に魅力を感じ、今の下仁田をそのまま残してほしいと語ってくれます。地元住民との交流を通じて「第2のふるさと」として、楽しく暮らしてもらえると嬉しいです。

豊富な観光資源



▲草津、万座、伊香保をはじめ、県内には数多くの温泉があります！

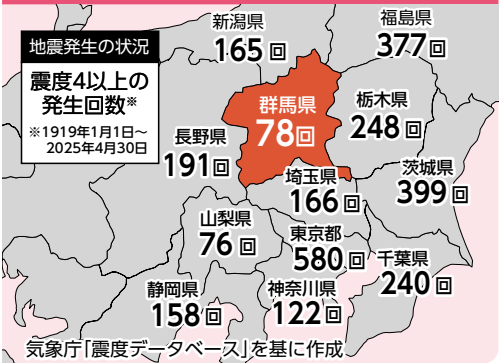


▲自然がいっぱい！日常の中に自然を感じることができます！



▲冬にはウィンタースポーツが楽しめます！

地震が少ない



交通アクセスが良い



◀関越、北関東、上信越の3つの高速道路が整備されており、県外へのお出かけも楽々

高崎駅から東京駅まで新幹線で約50分。東武伊勢崎線では太田駅から浅草駅まで約1時間30分▶



広々ガーデニングも

住宅の敷地面積 **群馬県**
338平方メートル
【参考】東京都139平方メートル

出典：統計でみる都道府県のすがた

晴れの日が多い

日照時間(年間) **群馬県**
全国2位

出典：統計でみる都道府県のすがた

Uターン、Iターン、孫ターン!?

祖父母が住む土地は、子どもの頃、年に数回しか訪れたことがない場所かもしれません。それでも見知らぬ土地に比べて不思議と安心感があるものです。まちの匂いや駅前の風景、近所の商店の雰囲気はどこか懐かしく、心のどこかにしっかりと刻まれ、思い出されます。

近年は出身地に移住する「Uターン」、出身ではない土地に移住する「Iターン」だけでなく、祖父母が暮らす「思い出の地」へ孫世帯が移住する「孫ターン」という言葉も生まれています。





子どもを伸び伸び育てたい

どうして群馬に？

結婚して子どもを授かったら、生まれ育った群馬に戻ろうと決めていました。東京に住んでいたころは、保育園の園庭や学校の校庭の狭さが気がかりで、子どもは伸び伸びした環境で育てたいと思っていました。

東京の暮らしと違うところは？

なにより家賃が安いんですね。東京では1Kの間取りで月7万円で、駐車場代は別途数万円かかっていました。今は同じような値段で3LDKに住んでいるのが、大きな違いです。

群馬は子どもが無料で遊べる大きな公園や児童館、子育て支援センターなどが充実しているので、とても助かっています。

それに、どこでも新鮮な野菜が手に入ることも魅力ですね。

かとう ひろこ
加藤 浩子さんとご家族

太田市出身。製薬会社勤務を経て群馬県の教員に。その傍ら子どもへの食育ボランティア活動を行う



エピソード Episode

スーパーですれ違った人が子どもに優しく話しかけてくれたり、同じ公園で遊んでいた家族と自然と友達になれたりするのは、群馬のいいところだなと思っています



住んで気付いた群馬の良さ

どうして群馬に？

転勤で2年ほど高崎市に住んでいた経験があり、群馬は暮らしやすい場所だなと感じていました。結婚し子どもが生まれ、定住して子育てがしたいという思いから、群馬を選びました。

「ぐんま」の良さは？

「ちょうどいい」という言葉に尽きますね。都会過ぎず、田舎過ぎない。高速道路や新幹線を利用できるので便利です。身近に自然を感じることもできます。

びっくりしたのが、晴れの日がとても多いことです。晴れの日が多いと、それだけで一日を気分良く過ごせます。

「群馬県民」の印象は？

「人が温かい」と感じました。引っ越しのあいさつをした時に「よく来たね」と玄関ドアを開けてくれたことに驚きましたし、うれしかったです。

うめつ ゆうた
梅津 雄大さんとご家族

宮城県仙台市出身。転勤が多く日本各地で勤務していた。群馬県に定住するため3年前に転職し移住。現在は、リモートワークをしながら週に1回神奈川県のおフィスに通勤している

Episode

神奈川や東京に住んでいる友人を群馬に呼んだとき「意外と群馬、都会だね」と驚かれました。テレビやインターネットで取り上げられている群馬と実際の様子で大きなギャップがあると思いました

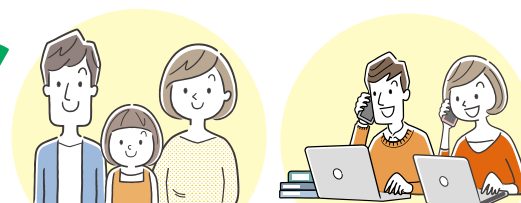
お試し「ぐんま暮らし」親子でテレワーク移住体験推進事業を始めました！

県では今年度から、子どもが主役の保育園留学と親のテレワークを組み合わせた「親子でテレワーク移住体験」推進事業を始めました。参加家族は、県内に滞在する1～2週間、その地域ならではの暮らし・子育て環境を体験できます。移住を検討している子育て世帯だけでなく、子どもと一緒に特別な体験をしたい家族が対象です。

家族で「ぐんま暮らし」を体験し、実際に子育て環境や地域の魅力を感じてもらうことで、その地域に愛着をもって関わる人や移住する人を増やしていく取り組みです。



今年度は桐生市で
受け入れ開始！



家族で移住体験！ 親はテレワーク



子どもは地域の保育園に

移住に群馬がオススメな理由を動画で紹介！



県公式YouTubeチャンネル[tsulunós]

▼動画の閲覧は
こちらから



▼ぐんま暮らし
ポータルサイト
「ぐんまな日々。」は
こちらから



群馬で生まれ育った人も、縁あって移り住んできた人も、それぞれの思いを胸に、ここ群馬で暮らしています。異なる場所で育った人たちが、群馬で出会い、力を合わせることで、地域に新しい風を吹き込み、未来へとつながる大きな力が生まれます。

上毛かるたの読み札のようにお互いに支え合い、力を合わせながら、地域を盛り上げていきましょう。

